

平成29年度「硬筆」 シラバス	単位数	2単位	担当者	
	対象学	全学年	使用教科書	学校作成教材による

### 1 学習の到達目標及び評価方法等

学習到達目標	1 文字を正確に、美しくそして能率よく書く能力を育てます。 2 硬筆学習を通して、これを楽しむ態度と感性を磨き、日常の生活に役立つ実用的な書の表現能力をより一層高めていきます。 3 書道検定などに積極的に挑戦し、その取得を目指します。
課題・提出物等	1 課題に応じて作品を提出します。 2 授業中に書いたものは基本的に、試書、添削を受けたもの、清書を問わずすべて提出します。
評価方法	1 提出作品、その枚数や内容を中心に用具用材の扱いを含めた学習活動への参加の態度などをもとに総合的に評価します。
評価の観点	皆さんの学習状況は、「関心・意欲・態度」、「提出物（ワークシート）」、「技能(豆テスト)」の3つから評価していきます。

### 2 学習計画

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	備考
前期	4	硬筆検定4級の実技領域の基礎 ①漢字と仮名 ア 漢字（楷書） イ 平仮名・片仮名	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>多く用いられる平易な漢字を点筆順・字形を整えて書く。</li> <li>平仮名・片仮名を筆順・字形を整えて正しく書く。</li> </ul>	
	5	②文章 ア 漢字仮名交じり文 ③硬筆書写に関する知識	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>平易な漢字仮名交じり文を正しく整えて書くことができる。</li> <li>硬筆書写に関する用具・用材（鉛筆、ペン、万年筆、フェルトペン、ボールペン）インキ、用紙などについての一般的な知識、理解をもっている硬筆書写に関する用具・用材などの正しい使用法を知る。</li> </ul>	
	6	硬筆検定3級の実技領域とその内容 ①漢字と仮名 ア 楷書 イ 行書 ウ 平仮名 エ 片仮名	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>楷書を正しく美しく書くことができる。</li> <li>行書を正しく美しく書くことができる。</li> <li>平仮名・片仮名を正しく美しく書くことができる。</li> </ul>	第1回書写検定
	7	②文章 ア 漢字仮名交じり文 イ 掲示	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字仮名交じり文を正しくかつ体裁良く書くことができる。</li> <li>簡単な掲示を正しく効果的に書くことができる。</li> </ul>	
	9	硬筆検定3級の理論領域とその内容 ①国語の表記法 ア 常用漢字の字体・音訓筆順 イ 現代仮名遣い・送り仮名 ウ 符号の使い方	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>常用漢字の字体、音訓、筆順に関する知識、理解をもっている。</li> <li>現代仮名遣い及び送り仮名の付け方に関する知識、理解をもっている。</li> <li>区切り符号その他の符号に関する知識、理解をもっている。</li> </ul>	
後期	10	②その他 ア 現代生活と硬筆書写	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代生活と硬筆（毛筆、謄写版を除く広義の硬筆による書写についての知識、理解をもっている。</li> </ul>	

	イ 硬筆書写に関する知識		・硬筆書写に関する用具・用材などについての一般的な知識、理解をもっている。	
11	硬筆検定2級の実技領域とその内容 ①漢字と仮名 ア 楷書 イ 行書 ウ 平仮名 エ 片仮名	8	・楷書を正しく美しく書くことができる。 ・行書を正しく美しく書くことができる。 ・平仮名・片仮名を正しく美しく書くことができる。	第2回 書写検定
12	②古典の臨書 ア 楷書 イ 行書 ウ 草書 エ 仮名	6	・楷書、行書及び草書を正しく美しく臨書することができる。 ・仮名を正しく美しく臨書することができる。	
1	③文章及び文書 ア 漢字仮名交じり文  イ 掲示  ウ 自由作品（半紙、色紙、短冊、半切）	6	・漢字仮名交じり文を目的に適した書体で正しく美しくかつ全体を効果的に書くことができる。 ・掲示を体裁良く書くことができる。 ・半紙、色紙、短冊及び画仙紙の半切に体裁良く書くことができる。	第3回 書写検定
2	硬筆検定2級の理論領域とその内容 ①国語の表記法 ア 3級の領域  イ 常用漢字表に掲げられていない漢字の字体（旧字体・書写体）、音訓及び筆順指導の手引き」に示されている以外の筆順 ウ 現代仮名遣い、送り仮名 エ 符号の使い方	8	・3級に示されている領域の内容を更に正確に習得、理解している。 ・常用漢字表に掲げられていない漢字の字体（いわゆる旧字体・書写体）、音訓及び筆順に関する知識、理解をもっている。 ・現代仮名遣い及び送り仮名の付け方に関する知識、理解をもっている。 ・区切り符号その他の符号に関する知識、理解をもっている。	
3	②その他 ア 現代生活と文字  イ 硬筆書写に関する知識	6	・現代生活（一般の生活及び実務）と文字との関係についての知識、理解をもっている。 ・硬筆書写に関する用具・用材などについて3級より更に高度の知識、理解をもっている。	

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硬筆の学習においてはまずよく見て丁寧に書くことが大切です。「文字を正しく美しく書こう」という気持ちで向かいましょう。</li> <li>・技法の習得にあたってはただ練習の枚数を重ねるのではなく自分が解決すべき課題や問題点を明確にしておくことが大切です。</li> </ul>
授業を受けるにあたって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業はチャイムと同時に始めますので、用具を準備し着席を完了させて下さい。</li> <li>・用具は個人の所有の物、学校の備品ともに大切に使いましょう。</li> </ul>